

いりなはこ

ネパールで野球「ラリグラスの会」活動報告書

2007 年度

ネパールで野球「ラリグラスの会」

活動報告書

ネパールで野球「ラリグラスの会」活動報告書

ネパールで野球「ラリグラスの会」活動報告書

ネパールで野球「ラリグラスの会」活動報告書



ネパールで野球「ラリグラスの会」活動報告書

ネパールで野球「ラリグラスの会」活動報告書

ネパールで野球「ラリグラスの会」活動報告書

ネパールで野球「ラリグラスの会」活動報告書

ネパールで野球「ラリグラスの会」

(原題：ネパールで野球「ラリグラスの会」活動報告書) 18 ラリグラスとはネパールの国花で「しゃくなげ」という意味です

2008 年 5 月 30 日

ごあいさつ

いつもご支援いただき誠にありがとうございます。1999年プール学院大学の研修プログラムの一つとして始まったネパール野球紹介活動も無事10年目を迎えることになりました。来年には10周年となります。

思い起こせば「野球の知られていない国ネパールで野球を広めよう!」と、「これはボールです」という説明会をポカラ市内のアマ・シンセカンダリースクールの生徒20名に紹介したところから野球交流は始まりました。これまで多くの学生や社会人の方々が毎年関わり、たくさんのネパールの子供たちが野球に関わってきました。

1校の生徒との交流が、2校となり、4校となり、6校となり、それがカトマンズ大学の学生に広がり、ネパールの軍隊でも野球を紹介するまでに至りました。毎年計画的にネパールでのトーナメント試合も実施してきました。

現地長期滞在者派遣も、花倉・園田・三浦・小林・藤岡と続いてきています。

また、一昨年からは野球と日本文化の交流拠点となるように、「ポカラハウス」を設立し、野球のミーティングや道具の管理、指導者の滞在先、そして日本とネパールの文化交流の場として、日本語学校を運営しております。先日までポカラハウスで活動をしていた小林(洋平)・小林(剛史)・糸賀・峯尾・藤岡が中心となって立ち上げを進めて参りました。

今年は、ポカラで選抜チームを作り、カトマンズに遠征して、初めてネパール国内の野球大会(トーナメント)を実施することができました。ネパールで野球が有名になり、国際大会に出場し、プロ野球で活躍する選手が誕生する日も近くなってきたかもしれません。

子供たちは目を輝かせ、野球に一生懸命取り組み、いまや130キロ代の球を投げるピッチャーやホームランバッターが生まれています。

あれから9年が経ち、当時のメンバーは社会人になってきましたが、今でも「野球から広まる笑顔」を目指し活動を続けております。

この度、ここ1年間の活動をまとめた活動報告書を作成いたしました。私たちの活動を是非ともご覧ください。

今後ともご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

(2008年5月31日 「ラリグラスの会」会長 赤松 弘章)

日本代表選手とネパール選手との交流

2008年10月、日本代表選手とネパール選手との交流が、ネパール首都カトマンズで行われた。



2008年10月、日本代表選手とネパール選手との交流が、ネパール首都カトマンズで行われた。この交流は、日本代表選手とネパール選手との交流が、ネパール首都カトマンズで行われた。



※ プール学院大学の「ネパール野球紹介活動グループ」のOB・OGそして現役生をまとめて「ラリガラスの会」と称しています。
(ラリガラスはネパールの国花「しゃくなげ」の意味です。)

ポカラハウススタッフ活動報告

2007 年度にポカラハウスで活動を行ったスタッフの報告と感想をご紹介します。



ポカラハウスでの活動を振り返って

糸賀恵理子

ナマステ。

2006 年 8 月より、ポカラハウスで活動しておりました糸賀恵理子です。

大きな病気や事故も無く、元気に帰国できましたのも様々な方からの御支援・御声援のおかげです。ありがとうございました。

ポカラハウスでは日本語クラスと野球紹介活動を行っていますが、私は日本語の方でポカラハウスのオープニング時から活動していました。

日本語クラスは学生数にもよりますが、朝（7：00～）、昼（11：00～）、夕方（16：00～）でクラスを設け、1週間に3日・1コマ1時間半での授業を行っています。また、通常クラスの他にも学生の希望で短期集中クラス（日～金・1時間）を開講する事もあります。授業の他にも日本料理体験デーを開き、学生と一緒にコロッケを作ったり、プール学院大学の研修グループが来られた時には日本・ネパール両方の料理での文化交流パーティー、また近畿大学のグループの皆様にはフリークラスを開催して頂いたり、授業以外にも他の日本語学校にはない催しを行ってきました。野球は2008年8月より新たな野球指導者が派遣され、熱血指導の下、子ども達は楽しんで野球に取り組んでいます。私は、野球練習に参加している子ども達も通う公立のセカンダリースクール（小中学校）でも（7 学年のみですが）週3回日本語の授業を行っていました。

日本語クラスの学生は日本語に興味がある人達が来ているのですが、雨が降ると欠席者が続出し、寒くなってくると遅刻者が続出し、ネパールの交通事情や天候、文化の影響で

授業が思うように進まず悩まされました。しかし、交通ストライキでバス等の交通機関が動かなくなった時でも片道2時間の距離を歩いて来た学生には感動させられました。また、セカンダリースクールでは日本語が授業科目の一つとして時間割に組まれていたので、クラス全員が日本語に興味をもっている訳ではなく、いかに全員を授業に集中させるかに努力を使いました。幸いにも7学年には野球をしているメンバーが多く在籍していたので、“日本人から野球を習っているので日本語にも興味がある”という子ども達が多くいたので、集中が悪くなっても野球メンバーから落ち着きの悪い子を注意してくれたり、他の先生が授業中、私が困っていないか確認しに見回りをしてくれたりと周りの方々に助けられながらの毎日でした。小さな感動やちょっと嬉しい出来事があると、嬉しくて、また次の日の授業を頑張る事ができました。

学生に対して私が願っていた事は、学んだ日本語や日本文化が今すぐに役立たなくても、日々の生活や後々の人生を送る中で支えになってほしいという事でした。日本へ行く事だけを目的にせず、日本語や野球を学ぶ事が日々の生活の中での楽しみや生きがいになって欲しかったのです。ネパールには食べる事さえも難しい家庭の子ども達も多くいます。学校が終われば家の手伝いをして1日が終わる子もいます。海外へ出なくてもネパールにしながら、日本語や野球を習得できた事を自信にして国を作る力に変えて欲しいと思いながら子ども達と関わってきました。その中で、私自身も子ども達から教えられる事はたくさんありました。人を大切にすること、物を大事にすること、友達を思いやること…。帰国後テレビを見ると毎日のように人を殺した、傷つけたというニュースが流れています。そんなニュースを見るたびに、ネパールがこんな社会になってほしくないなあと純粋に思いました。

ポカラハウスがオープンして1年半が過ぎました。活動を進めていく中で問題点も見え、考えていかなければならないことが多くあります。特に日本語の方は日本への留学に関心のある方からの問い合わせは多く来るのですが、ポカラハウスでは留学申請ができないとわかると、他学校へ学びに行きます。日本語の学生数が増えない主な理由はこれです。ですがポカラハウスは学生を日本へ送り込む機関ではなく、あくまでも日本とネパールの交流が出来る場でありたいとラリグラスでは再確認しました。その為には安定した活動資金や人材が必要です。今後も御協力よろしく申し上げます。これからも日本文化交流や野球を通してネパールの子どもの心を豊かに育てる事ができる機関にポカラハウスがなればと思います。

ポカラハウスでの生活が始まった頃は、全部が初めての事だらけで何をどう判断して良いかわからず、戸惑ってばかりでした。特に同じくオープニングスタッフであった小林洋平さんの帰国後は特に不安が増し、日本のメンバーから見れば頼りない行動もあったと思います。学校の立ち上げに携わられた経験はなかなかできる事ではないですし、この活動を通し主体的に動く力が身に付いたと思います。皆様にこのような機会を与えて頂き成長さ

せて頂いた事に感謝しています。また、共にネパールで生活し、支えて頂いたW小林さん（洋平さん、剛史さん）、峯尾さん、藤岡さん、ネパール人スタッフの皆さん、どうもありがとうございました。

報告書

峯尾なつみ

ナマステ。峯尾なつみです。

私は2007年3月から2008年3月までポカラハウスで日本語を中心に活動していました。クラスは朝・昼・夕方と3つありましたが、朝のクラスを担当していました。

日本語を教えることはもちろんですが、それ以外にもポカラハウスではフリークラス、料理教室、文化紹介、パーティーなども開いていました。

料理教室やフリークラスなどは頻繁に行うことは出来ませんでした。普段会うことのない学生と会うことが出来、学生同士で日本語を練習する機会にもなって良かったと思います。

ポカラハウスの他にカリカというセカンダリースクールでも日本語を教えていました。日本で言えば中学一年生ぐらいの学生を約180人担当していました。

学生の人数が多いことは日本や私達の活動を知ってもらうために良かったのですが、多すぎて全員の名前を覚えることが出来なかったのが残念です。そして、セカンダリースクールでは日本語に興味を持てない子も多く、聞きなれない言葉についていけない学生も多く苦戦しました。ポカラハウスの学生と同じやり方では無理があり、日本語を教えるというよりは、日本の文化や歌、遊びをして日本を知ってもらうことを中心にしていました。

そして、セカンダリースクールでは日本語以外に野球活動もしていました。私は野球が詳しくないのでプレーヤーに学校へ来てもらって、野球の紹介をしてもらい、興味を持った学生と練習を始め、新しいチームが出来ました。以前からあるバルパトラやシッダは練習場が遠いためにあまり行くことは出来ませんでした。カリカは練習場が近いこともありポカラハウスが終わったあとによく見に行っていました。未経験の子たちばかりですが、学校が終わった後は毎日練習をして、トーナメントにも参加をしてと頑張っています。

ポカラハウスは他の日本語学校に比べるとかなり学生は少なかったです。その原因の一つは日本への道がなかったことだと思います。ネパールでは仕事をしていても十分なお金を得ることが出来なかったり、仕事が無かったりで出稼ぎをする人がとても多いです。その出稼ぎの手段としてビザを取得するために日本語を勉強したりします。しかし、ポカラハウスではその要望に応えることが出来ません。ニーズに応えられずに運営をするというのは

難しいなと感じました。

でも、ポカラにある日本語学校を全部見てポカラハウスが一番良いと言って来てくれた学生や、ここへ来て良かったと言ってくれた学生、ポカラハウスがなくなったら困ると言ってくれた学生もいました。運営・ビジネスというのは難しいかもしれませんが、ポカラハウスを必要としてくれている学生は確実にいると思うので、形は変わってもポカラハウスで日本語を教える活動が続けば良いなと思います。

セカンダリースクールで日本語を教えることは正直難しいです。日本語は成績に入らないこともあって真剣に勉強しない学生も多いですし、興味を持たない学生もたくさんいます。でも、やり方を工夫して日本を紹介したり、野球活動をしたりと交流出来るチャンスは多いと思うので、これも続けばいいなと思います。

私のポカラハウスでの活動の中心は日本語でしたが、もちろん野球活動にも参加していました。普段、練習を見に行くことはあまり出来ませんでした。練習姿やトーナメントをする度に確実にみんな上手くなっていたと思います。

ガラガラと練習している時もありますが、毎日練習をして頑張っている姿はとても素敵でした。トーナメントではみんな本当に必死で、そんな姿を見ていると本当に羨ましく思いました。

ネパールではまだまだ野球は知られていません。今は日本人が常にいるという状態は難しいですが、私達がいなくても野球を続けていく力は十分に持っていると思います。道具の問題や、野球が広まっていくにはまだまだ時間も人も必要だと思いますが、私達がいなくても今のプレーヤーがずっと続けていってくれればと願っています。

その為には年に何回かトーナメントをするなど目標を作ったりする工夫も必要だと思います。

ネパールタイムというのに悩まされることもあったり、どうしていいのかわからずつまづくこともたくさんありました。日本語を教えることは難しかったですが、「この学校へ来て良かった」と言って貰ったときは本当に嬉しかったです。3人いた先生も今では誰も居なくなってしまい、ポカラハウスでずっと勉強したいと言ってきていた学生に応えることが出来なかったことが申し訳なく、とても悔しいです。

今すぐ戻る事が出来るなら戻ってもう一度みんなと勉強したいです。

ネパールの写真を見ていると帰りたくなります。みんなに会いたくなります。言葉も何も分からなかった私にみんな優しくしてくれて、毎日話し掛けてきてくれました。

ネパールのスタッフは生活面でもとても助けてもらいました。彼等がいなかったらネパールでの生活はなかったと思います。みんながあつてこそ私たちだったと本当に感じています。

貴重な一年を過ごすことが出来たのも、ネパールのみんなに出会えたのも、ポカラハウ

スがあったからです。ネパールで一緒に過ごした、野球のプレーヤー、ボカラハウスの学生、セカンダリースクールの学生と先生、ヒラチャンさん、ビノッドさん、シャム、デビ、スニタさん、ネパールで出会った全ての人たち、小林さん、糸賀さん、藤岡さんにととても感謝しています。

そして、日本でサポートしてくださったみなさん、応援してくださったみなさんにもとても感謝しています。温かく見守っていただきありがとうございました。

私にとって本当に大きな大切な一年を過ごすことが出来ました。これからもボカラハウスの活動が続くことを期待しています。またいつかネパールへいけるように、これからは日本で頑張っていきます。

一年間、力足らずではありましたが本当にありがとうございました。

ネパール ポカラでの活動報告

小林剛史

私は2006年9月から2008年4月まで、ネパールのポカラで日本語教師としてラリグラスに派遣され活動しました。現地では、ラリグラス運営のボカラハウスと地元のセカンダリースクール（公立の小・中学校）で日本語を教えました。

ボカラハウスは、日本語のクラスとスタッフの住居スペースと野球の事務所があります。日本語のクラスが始まったのは、2006年の10月ですが、私が派遣された9月からオープンの準備などをしていました。クラスのカリキュラムをつくったり、家具を買ったり……。学校を始めるプロセスにかかわれたので、とてもいい経験になりました。学生は、大学生や働いている人が多く、日本へ行きたい人や、日本人と結婚している（する）人などでした。はじめの頃はクラスの準備が大変でしたが、日がたつにつれて慣れていきました。授業中も最初は緊張していて不安でしたが、それも慣れていき、楽しめるようにもなりました。

セカンダリースクールはシリシッダセカンダリースクールといい、ボカラハウスから自転車ですぐ25分ぐらいの町の外れにあり、私はそのクラス7（11歳～14歳ぐらい）の学生に教えました。学生たちはとても元気がよく、授業中に静かになることが少なかったのですが、日本語を教えるだけでなく歌を歌ったり、ゲームをしたり私自身もとても楽しめました。みんな人懐っこくフレンドリーで好奇心旺盛だなと思いました（先生たちも）。

あと、ラリグラスではボカラで野球を広めようと教えているのですが、私も時間がある時参加していました。朝6時半ぐらいから、天気がいい日はヒマラヤを眺めながらセカンダリースクールの学生中心のメンバー達と野球をし、野球といっても日本の練習などと違い、のんびりとして笑顔がたえない雰囲気でした。おかげで頭も体も健康にな

りました。

ネパールでの生活は日本のそれとは違いますが、私はあまり戸惑うこともなくうまく溶け込めたと思います。ネパールが好きな日本人というより、日本寄りのネパール人といったところでしょうか。1年半の滞在で、ほんとに多くの人に会い、親切にしてもらって感謝しています。もちろんまたネパールへ行きたいです。

最後に、今回ひょんなことからラリグラスの方たちと知り合い、そのおかげでネパールへ行くことができました。現地で同じ活動をしたメンバー、日本でそれを支えてくれた方々、ネパールで活動を支えてくれた方々、学生、近所の人たち・・・、みんなに感謝。



峯尾さん

小林さん

糸賀さん



プール学院大学 ネパール研修

期 間：2007年9月2日（日）～9月23日（日）

参加人数：20人（引率：関綾子先生）

2007年8月25日

午前中野球チーム「ラリグラス」がプール学院大学グラウンドで交流試合。午後からは研修恒例の卒業生と、日頃野球チームで活躍しているメンバーによる、事前研修が実施されました。

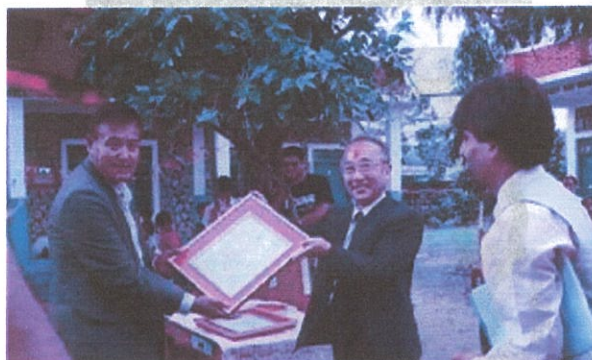
事前研修協力者：ラリグラスの会 8名

代表の赤松さんから、ネパールで野球交流が始まったきっかけと今までの活動説明、今後の活動への協力依頼のお話の後、現在のネパールをとりまく環境問題、特にネパールの水質汚染に関わる問題について、また、それにともない現地での日常生活の心構えなどをわかりやすく説明しました。その後、プール学院大学ネパール人留学生サントス・ダハルさんから、ネパール語講座もひらいてもらいました。現地で、子どもたちと接する時や、ホームステイですぐに役立つネパール語など、ネパール経験者ならではのアドバイスを交えながらの「ネパール語講座」となりました。

現役生と、ラリグラスのメンバーで少人数グループを作り、現地の様子や質問、ネパール野球校流に対する熱い思いを語る時間を作りました。



2007年度の研修は、日本語交流が始まって10周年ということもあり、シリシッダ・セカンダリースクールで10周年記念セレモニーが開催されました。



プール学院大学井上学長(右)とESODEC代表
ヒラチャン氏(左)

参加者の一言感想

参加者 S 現地の人は明るく、活気があって、とけ込みやすかった。野球活動に引率がいらないのが不安だった。

参加者 Y 人が温かいと思った。良い経験になった。

参加者 E 日本語紹介では、子どもたちが熱心に取り組んでくれると聞いていたが、想像以上で、「せんせい、せんせい」となついてくれて、うれしかった。

参加者 R 旅行ではいけないところだと思ったので、いけてよかった。貴重な経験をした。

参加者 T 最終日に、こどもたちが私たちが教えた「これはなんですか」など日本語を使って質問してくれたことがうれしかった。

参加者 M 日本では「子ども」に興味があり、学童保育、障害児施設にボランティアをすることがあった。ネパールで外国のこどもと接することは初めてで不安だったけれど、日本とネパールのこどもの違い、良さにも気づき、さらにこどもに対する興味が増した。

参加者 F この年齢で本当に「身にしみる」体験をさせてもらったと思う。想像を超えることばかりで良い経験になった。プールにこの研修があつてよかった。

参加者 S 最初は単位のためと思って研修に参加したが、実際行ってみてネパールの良さがわかった。この研修をずっと続けていってほしい。

参加者 M 行く前は、「日本語なんて自分で勉強すればいいんだ」とぐらいにしか思っていなかったが、自分たちの活動が、ネパールの人たちの少しでも力になれるのであれば、と考えが180度変わり、活動することができた。また行きたい。

参加者 U ついた時は、あと何日のこっている、、、と長く感じたが、滞在しているうちに、あと何日しか残っていない、、、という感覚に変化した。最終的にはすべて楽しかったと言える。大学でたいした思い出はつくれてこなかったが、この研修でいい思い出が作れたと思う。

参加者 M ついたばかりの時は、びっくりしてしまい、早く帰りたいと思ったが、3週間楽しかった。いい経験になった。

参加者 N 友達が回りにいること、親のありがたみを痛感した。

参加者 T 初めての海外で、びっくりすることが多かった。でもいい経験になった。

参加者 A ネパールの人たちと仲良くなれてうれしかった。

参加者 F 3週間あつという間だった。こどもから大人まで心があたたまると人ばかりだった。ネパールの現状、シビアな場面を目の当たりにして、これからどうしていくか何をしなければならぬのか考えないといけないと思った。

参加者 S 元気を「あげる」つもりで行ったのに、逆に元気をもらってきた。

参加者 H 日本とは全然違うけれど、(経済的に)発展する前の日本をみているように思った。物、お金、食べ物大切さを痛感した。優しさ、おもいやりがあって、日本もあんな人たちのようになればいいのと思った。

参加者 F 行く前は、どうなるのかと思ったけれど、みんなの色々な面が見えて、それぞれいいところがあって、みんな大好きになった。

ポカラ甲子園 9月トーナメント向けバトル開始！！

遅れましたが、9月のポカラベースボールカップについて簡単にスケジュール的な説明をしておきます。

大会参加チームは9チーム。(うち2チームは首都カトマンズのチーム)

日程は9月6, 7, 8日の3日間。

それまで各校トレーニングを行っています。

練習は朝 6:30~8:30

夕方 4:30~6:30

参加チーム

アマシンセカンダリースクール(10~18歳)

カリカセカンダリースクール(10~18歳)

シリシッダセカンダリースクール(10~18歳)2チーム

バルバトラセカンダリースクール(10~18歳)2チーム

ポカラオールスターズ

カトマンズ大学

オールアマシンセカンダリースクール(26歳ぐらいまで)



大会のことを掲載している広告が完成しました！！

選手のお母さん、お父さん、兄弟、ポカラの町の人々に配り、いっぱいグラウンドに人を呼び

野球を知ってもらうこと、兼選手の親に野球をやっている息子のプレーや野球をしている時のいい顔を

みてもらいたいと思い作成しました！！たぶんみんな恥ずかしがって親に報告していないと思うので

強行突破です(笑)

街中で選手たちとユニフォームを着て配ろうと思います！！





今更なる、この活動は、人々の心を、平和と発展の道へ導く。そして、国々の間で、
 平和と発展の道へ導く。そして、国々の間で、平和と発展の道へ導く。そして、国々の間で、
 平和と発展の道へ導く。そして、国々の間で、平和と発展の道へ導く。そして、国々の間で、



この活動は、人々の心を、平和と発展の道へ導く。そして、国々の間で、
 平和と発展の道へ導く。そして、国々の間で、平和と発展の道へ導く。そして、国々の間で、

この活動は、人々の心を、平和と発展の道へ導く。そして、国々の間で、
 平和と発展の道へ導く。そして、国々の間で、平和と発展の道へ導く。そして、国々の間で、



タイ代表チーム見学

タイ代表の総監督、江本氏（元阪神投手 プロ野球選手：野球解説者）にラリグラスの会代表の赤松がコンタクトを取り、2007年8月26日、タイナショナルチームと甲南大学野球部との練習試合を見学させて頂きました。当日は江本氏もグラウンドに来られ、タイチームを指導する合間に、ラリグラスの会のメンバーともお話をして下さいました。

タイにはナショナルチームがあり、リトルリーグも昔からあるにもかかわらず、東南アジアの他の国と同様、サッカーの人气が高く、野球はほとんど知られていないとのことでした。チームのレベルは指導者によって変わるなど、ネパールの野球へのアドバイスも頂き、道具の輸送の問題など、タイにもネパールにも共通する問題についてもお話下さいました。

他にも、タイチームの監督をされている寺岡氏や甲南大学野球部の監督など、たくさんの方々をご紹介いただきました。江本エンタープライズの皆様、ご関係者の皆様、本当にありがとうございました。



江本孟紀総監督(後列中央)



フリーマーケット@南港

2007年11月23日（金）に南港でASK（アジアを知る会）のプール学院大学の学生さんと合同でフリーマーケットに出展しました。

潮風に吹かれながら、ずいぶん寒かったですが、みんなで楽しく声を出してお客さんを呼び込んでいました。売上金はすべて当会の寄付金となるので、今後も時間の許す限りフリーマーケットの出展を続けていくつもりです。



ワン・ワールド・フェスティバル

昨年に続き、2008年2月2日（土）、3日（日）に大阪国際交流センターで行なわれたワン・ワールド・フェスティバルに出展しました。

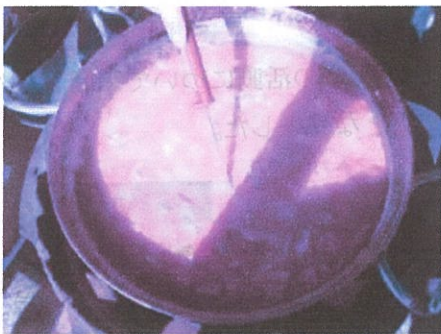
出展数がかなり多く、たくさんの来場者で賑わい、われわれの活動についてお話したり、出展者同士の交流もあり大変意義のあるすばらしい時間となりました。



プール学院大学 学園祭

2007年10月27日・28日プール学院大学にて学園祭が開催されました。ラリグラスの会も卒業生として出店し、毎年恒例のネパールカレーとTシャツを販売しました。また、ASK（アジアを知る会）の現役生と合同でアジア雑貨を販売しました。

プール学院大学から始まったラリグラスの会は今でも職員の方や卒業生からご協力を頂いています。今回も多くの方々がTシャツを購入して下さいたり、カレーを召し上がって下さったりして、現役生にも私たちの活動をアピールする場として大変有意義なものでした。



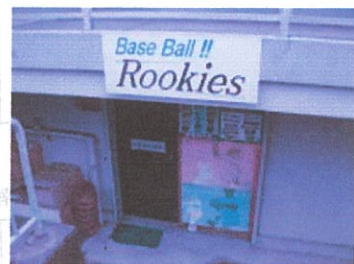
野球道具のご協力ありがとうございました

・NPO 法人アジア子供支援フジワーク基金様より、帽子 246 個、野球用 T シャツ 33 枚、ボールペン 20 本を寄付して頂きました。



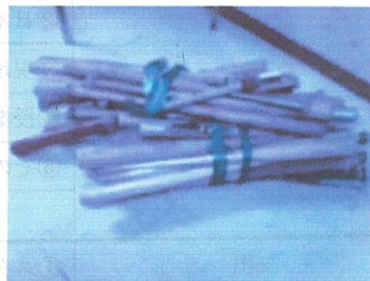
アジア子供支援ネットワーク
鉄本様 徳田様

・ベースボールルーキーズ様より、ボール 180 球（軟球*全て新球）、ボールケース 1 個、バット 26 本、バットケース 1 個、キャッチャーマスク 1 個、グローブ 4 個、スパイク 15 足、運動靴 3 足、アンダーシャツ 6 着、練習用ユニフォーム上 4 着、ベルト 9 本、帽子 1、ジャンパー 2 着、ウインドブレーカー 2 着、ライン引き 1 台=合計 76.3 kg を寄付して頂きました。



ベースボールルーキーズ 津田様

・大阪府池田市の小学校の教頭先生より、少年野球用のバット約 80 本を寄付して頂きました。



・平林金属ソフトボールクラブ様より、ユニフォームをたくさん寄付して頂きました。



その他、たくさんの方々から道具や資金のご寄付を頂きました。本当にありがとうございました。

2007 年度会計収支報告

収支	部門	金額
収入	①前年度繰越金	41,024
	②会員年会費	132,000
	③寄付・募金	315,687
	④Tシャツ売上金	42,000
	⑤MTG参加費	46,000
	⑥イベント収入	101,039
	⑦その他雑収入	7,402
	収入 計	685,152
支出	①報告書	37,196
	②ポカラハウス資金 (※1)	531,000
	③Tシャツ作成費	52,179
	④MTG開催費	37,680
	⑤イベント出展	11,000
	⑥その他雑費	9,767
	支出 計	678,822

次年度繰越金 ￥6,330

※1 2007 年度ポカラハウス収支報告

収支	部門	金額
収入	①前年度繰越金	510,709
	②日本からの送金	531,000
	③現地寄付金	150,000
	④授業料	92,000
	⑤その他雑収入	5,775
	収入 計	1,289,484
支出	①スタッフ人件費 (ビザ込)	557,375
	②建物代	272,000
	③光熱費	60,000
	④広告費	20,000
	⑤学校運営費	123,385
	⑥野球大会費	110,000
	⑦その他雑費	100,000
	支出 計	1,242,760

次年度繰越金 ￥46,724

2008 年度予算案

収支	部門	予算金額
収支	①前年度繰越金	6,330
	②会員年会費	180,000
	③寄付・募金	500,000
	④Tシャツ売上金	100,000
	⑤MTG参加費	60,000
	⑥イベント収入	100,000
	⑦その他雑収入	60,000
	収入 計	1,006,330
支出	①報告書	50,000
	②ボカラハウス資金 (※1)	800,000
	③Tシャツ作成費	55,000
	④MTG開催費	36,000
	⑤イベント出展	30,000
	⑥その他雑費	15,000
	支出 計	986,000

次年度繰越金 ￥20,330

※1 2008 年度ボカラハウス予算案

収支	部門	予算金額
収支	①前年度繰越金	46,724
	②日本からの送金	800,000
	③現地寄付金	50,000
	④授業料	0
	⑤その他雑収入	30,000
	収入 計	926,724
支出	①スタッフ人件費	300,000
	②建物代	272,000
	③光熱費	60,000
	④学校運営費	150,000
	⑤野球大会費	100,000
	⑥その他雑費	18,000
	支出 計	900,000

次年度繰越金 ￥26,724

[illegible][illegible]